



# 若竹だより



## 【巻頭言】

## 夏 祭 り

### —卒園生の太鼓演奏—

園長 野田大燈

先月 7 月 13 日土曜日に若竹学園の恒例夏祭りが開催されました。

梅雨は明けきっていないものの、日中はうだる様な暑さではありましたが、数日前より職員と園生が協力して夏祭りの準備に余念がありませんでした。

当日の開始時間午後 5 時前には日も少し西に傾いて日差しも柔らかくなると同時に学園全体に涼しい風がそよいで来ました。

清風は海拔 400 ㍎の地にある夏場の若竹学園最大のお持て成しです。

園生たちは数日前より夫々の持ち場に分かれて練習を重ねて来ました。

昨年の綿菓子に恥ずかしい位に大きくなり固いばかりのものでしたが、今年は少しは許される程の大きさになっていましたが、それでも夜市などの綿菓子には負けていました。

そして愈々午後 5 時の開催時刻となり、元気な若竹太鼓の演奏が始まりました。

「私、出来ない、無理…」と日頃から今日の日の為に練習を重ねて来たものの、不安が大きくて尻込みしている A ちゃんでしたが、仲間励まされて撥を握りました。

「そーれ！」の掛け声とともに太鼓演奏が始まると、先ほどの不安顔な A ちゃんはキラリとした別人の表情に変わっていました。

心理治療施設の若竹学園では太鼓演奏は「音楽療法」と位置付けられています。

心に不安や葛藤を抱える園生の中には、全身で太鼓に撥を叩きつけることが出来ない者もいますし、全体のリズムに乗れない者もいます。

リズムをつかみ、太鼓の振動音に身を任すことにより音響が脳に振動として伝わって活性化して来ます。

そして将来は太鼓を抱えて老人施設へ慰問に行くことが夢です。

現在、学園の講師をして下さっている方の紹介で毎月 1～2 度太鼓演奏の指導に来て下さっている団体があり、夢の実現に向けて特訓中でもあります。

今年是在園生の太鼓演奏と共に、初めて卒園生 4 名の太鼓演奏が夏祭り最後の締めくくりとして演奏してくれました。

夏祭りの最初が在園生で最後が卒園生の太鼓演奏と言うのは若竹学園ならでのものではないかと自負しています。

当初は夏祭りの開幕と同時に競演の形で計画していたのですが、何分にも卒園生は全員就労していますので勤務時間の関係で 5 時には間に合わず終演を飾ることとなりました。

個々の練習時間もなく、更に音合わせの時間すら充分ではなかつたにも関わらず、息の合った素晴らしい演奏に参加者の拍手が大きく響いていました。

来年の夏祭り、そして太鼓演奏にご期待ください。

—了—

# 夏祭り

今年も若竹学園夏祭りの季節がやって来ました。梅雨真っ只中、湿気の重たい時期に夏祭りの準備が始まります。

日程を決めると、中学 3 年生を中心に出店、食事のメニューを決めます。毎年、うどんとやきそばのメニューが重なるのはどうか、という意見も挙がりますが、子どもたちにとっては、うどんもやきそばも外せないメニューのようで、今年も要望通り 2 つのメニューを出店することになりました。

メニューが決まれば、子どもたちみんなに知らせて、どの出店の担当になりたいかアンケートを取ります。出店の担当が決まれば、出店担当職員と一緒に看板、チケット作りが始まります。それと同時に、食事会場となる学校 1 階ホールに掲示する、学園紹介や装飾物も担当に分かれて作っています。

今年の出店は、うどん、やきそば、カキ氷、ジュース、綿菓子、ヨーヨー、ストラックアウト、射的に加え、今年は輪投げを行いました。学園紹介の掲示物は、学園の歴史、年間行事、スポーツチャンバラ、坐禅、茶道、太鼓、農園、職員紹介に加え、今年はハーブ園の紹介も作成しました。

看板には担当の子どもたちの好きな絵も描かれますので、ポケモンやナルトなどのキャラクターも描かれます。細かいところまで写したり、色にこだわったりと、それぞれの個性が表れます。あ  
あでもないこうでもない、と子どもたちと相談しながら、当日まで準備に取り掛かります。

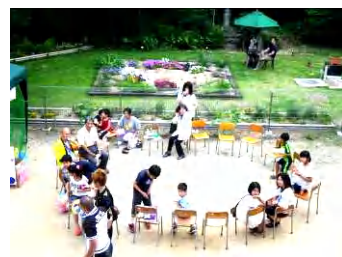


今年も前日にテントを立てる力仕事を済ませていたので、当

## 平成25年7月13日

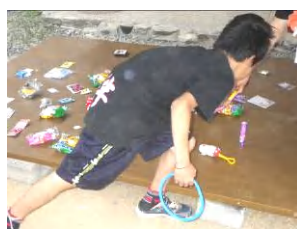
日は男の子たちが出店用の机や椅子、ヨシズを準備し、女の子たちで食事会場の装飾をしました。暑い中の仕事でしたが、それぞれの場所で頑張ってくれていました。

暑いのですが、突風が吹くような天候により、砂埃が舞う中での準備となりました。それぞれが工夫して動いてくれていたので、水撒きに加えて、ジュース売り場でジュースを氷で冷やしながらも砂埃が入らないよう蓋をしたり、出店の机に台吹きを準備したりしてくれていました。準備中は大変でしたが、夏祭りが始まると、砂埃も落ち着いて、心地よい風が変わっていました。



17時、園長先生の挨拶と若竹太鼓を披露し、夏祭りが開始しました。

学園の夏祭りは日頃お世話になっている方々に感謝の気持ちを込めておもてなしするという意味を込めています。至らぬところもあるかもしれませんが、それぞれの出店で精一杯のおもてなしをさせて頂きました。



また今年も、卒園生が多数来園し、その中の有志で、若竹太鼓を披露してくれました。それぞれの生活、仕事がある中で、予定を合

わせて夏祭りに来てくれて、学園生活を思い出しながら太鼓を演奏してくれる、とてもうれしい時間でした。

十分なことは出来なかったかもしれませんが、子どもたちの頑張り、成長した姿を見ていただける機会となったと思います。ご来園

くださった方々、ありがとうございました。

## 若竹学級たより

歌と踊りは心の琴線をふるわせませ

東京から若竹学園へ 2 人のアーティストがやってきました。ゴスペルシンガーの NOBU さんと hip hop dancer の JP さんです。Live & Lesson として若竹学園の子どもたちにホンモノの歌と踊りを紹介してくださいました。

NOBU さんの琴線にふるえる歌、そして、JP さんの明るく楽しいダンスレッスンによって、最初は緊張した面持ちの子どもたちが、だんだんと緊張から解放され、軽快なステップで踊り始めた姿を見て、とても嬉しくなりました。

「先生、明日は 2, 3 校時だけですか? 4 時間目もしてくださいませんかね〜。」

子どもたちはすぐにスイッチが入ってしまいました。熱気に包まれた若竹ホールでした。

NOBU さんが私たちに語りかけるように歌ってくれた [My Life Is In Your Hands]

歌詞を見ながら聴いていると、いろんなことが思い出されてきて、涙が止まりませんで



した。これまで多くの失敗や試練に直面してきましたが、私が今あるのは、人間の存在を超えた SomethingGreat (神様・仏様・宇宙…) が見守ってくれていること、仲間や家族がそばにいてくれるからこそだと改めて分かりました。

NOBU さん & JP さん わざわざ若竹学園へお越しいただき、そして、素敵な Live & Lesson をしていただき、あり

がとうございました。ホンモノにふるえる機会が少ない若竹の子どもたちにとって、2 日間の歌と踊りはとても印象に残り、ひょっとしたら、人生を変える出来事になるかも知れません。それほど、歌と踊りには人間の本質をふるわせるものがあると私は考えています。



### My Life Is In Your Hands Kirk Franklin

You don't have to worry  
And don't you be afraid  
Joy comes in the morning  
Troubles they don't last always  
For there's a friend in Jesus  
Who will wipe your tears away  
And if your heart is broken  
Just lift your hands and say  
Oh

I know that I can make it  
I know that I can stand  
No matter what may come my way  
My life is in your hands

心配しないで  
恐れなくて  
朝には喜びがやってくるから  
辛いことはそう長くは続かない  
イエスという名の友がいるのだから  
彼があなたの涙を拭ってくれるから  
もし、あなたの心がボロボロに傷ついているのなら  
両手をあげてこう言ってみて

私は乗り越えることができる  
私は耐えることができる  
どんなことが起ころうとも  
私の人生は、あなた(イエス)の御手の中にある

## ハーブガーデンだより

夏祭りに向けて、芝刈り機を購入し、芝を整備しました。少々まだらになっています。まだまだ育成中です。また、ハーブガーデン用に机と椅子を購入しました。

暑い中、草花も頑張っています。ハーブも青々と茂ってきました。今一番の伸び盛りは、ハーブではなくひまわりです。柵のところに植えたひまわりの中には、折れてもなお、頑張っ葉っぱを広げているものもあります。



ハーブガーデンに植えているハーブの紹介は、夏祭りの時に作成し、今は学園 1 階廊下に掲示してあります。まだまだ発展途上ですが、学園に来園くださった際は、紹介を見てハーブの香りを確かめてみてください。

## 夏祭りの裏側

学園夏祭りは 19 時まで。お客様をお見送りしたら、園生たちの夏祭りが始まります。職員が出店担当となり子どもたちを労います。

食べ物すべてを制覇する子、食事そっちのけで射的や輪投げ、ストラックアウトの景品を狙う子など、それぞれ、好みの場所に分かれて走りまわります。もちろん、遊んでいるところに声を掛け、準備したうどんややきそばを食べさせています。

普段の夜は学園内で過ごしているのもあり、いつもと違う雰囲気の中、にぎやかであつという間に時間が過ぎていきました。

## 夏休みが始まる!

今年も 7 月 20 日より夏休みが始まりました。今年目標は、毎日活動を入れること。全員参加型だけでなく、それぞれの子どもたちが好きな活動ができるよう職員一丸となって頑張りたいと思います。

## 7 行事

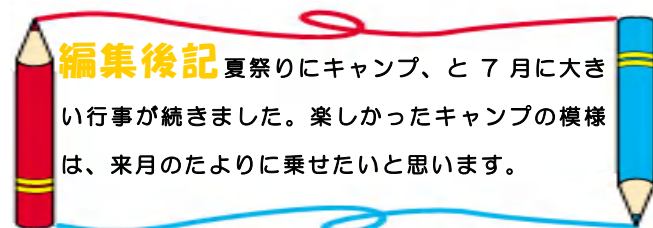
- 13日 若竹学園夏祭り
- 20日 図書館  
亀山学園夏祭り
- 21日 海水浴
- 22日 防災訓練
- 30-31日 キャンプ

## ~御寄附ありがとうございました~

- |         |          |
|---------|----------|
| □たまや様   | お菓子、調味料等 |
| □夏祭り募金箱 | 7400 円   |
| □讃岐学園様  | お菓子      |
| □泉川慶喜様  | ゼリー      |
| □香川銀行様  | ジュース     |
| □森定雄様   | ジュース     |
| □落合歩様   | ジュース     |

## 各種ボランティアを募集しています!

詳細は学園までお問い合わせ下さい。



**編集後記** 夏祭りにキャンプ、と 7 月に大きい行事が続きました。楽しかったキャンプの様子は、来月のたよりに乗せたいと思います。

第 234 号発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://netwave.or.jp/~wakatake/>

Eメール [wakatake@mail.netwave.or.jp](mailto:wakatake@mail.netwave.or.jp)

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈